

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

ふろタン通信



2022年7月16日 広報センター No. 43

前号4月23日付の「通信」NO.42はふろタン工房や仲間の団体等の近況報告ですと書いて、「二都研」と「創生研」の活動・ふろタンインタビュー・ふろタン技研レポートを掲げ、まちなび倶楽部とミンガラバー・ユネスコクラブの活動を紹介していました。

本号はその続編、「二都研」の活動とふろタン技研レポートの近況報告です。

◆「第42回二都研7月22日開催」の案内が6月20日にメンバーに送られてきました。タイトルは

4年前の「二都研第30回記録誌」を読みながら考えた

「ふろタン技研レポートコーナーの活用術」でスピーカーは長野啓さん

ホームページの技研レポートコーナーにVol.0で「二都物語研究会」が第30回記録誌を掲載したのが4年前の2018年4月24日、8名のメンバーのレポートが載っています。

1. 「ミンガラバー！」 相田 諭希典 (株)URリンケージ
2. 「二都物語研究会」に参加して 朝倉 正浩 飯能市立博物館
3. ヤンゴンの建築モチーフ探検記 宇塚 幸生 (株)入江三宅設計事務所
4. ミャンマーにおける5年間の空間計画の発展を振り返って 大場 悟 (財)日本開発構想研究所
5. みゃんまー昔ばなし 長野 啓 (株)千葉ニュータウンセンター
6. 書評『胎動する国境 英領ビルマの移民問題と都市統治』 浜 利彦 (財)日本開発構想研究所
7. 「二都物語研究会」(第30回×平成30年)雑感 三田村 喜己男 (株)URリンケージ
8. 「辺境(フロンティア)への想い」はどのように生まれたか 室井 隆良(NPO)ふろんていあタウン工房

1. ミンガラバー 相田



2. 二都物語研究会 朝倉



3. 建築モチーフ探検記 宇塚



4. ミャンマー空間計画 大場



5. みゃんまー昔ばなし 長野



6. 胎動する国境 浜



7. 二都研雑感 三田村



8. 辺境への想い 室井



「二都研」のスタートの2012年9月12日からの記録を纏めたのがVol.0で技研レポートVol.1は、ふろタン工房発起人メンバーの一人宮本保宏さんの2018年10月の「いちばん近い国-中国」です。論文力・図と写真のバランス等構成力抜群で、その後の技研レポート投稿の皆さんにはベストサンプルとしてデータをお渡しています。最新のレポートVol.20は森下毅一さんの「縄文杉歩記」です。

「二都研」第30回記録誌メンバーで今回技研レポートコーナーの活用を呼び掛けてくれた長野さんは、JICA チームで森田忠志さんと一緒ですがお二人の投稿はまだありません。Vol.0以外の投稿が一回だけあるのは三田村・相田さんのお二人です。複数回投稿している宇塚・室井は、暫くは投稿呼びかけ人役に専念する予定。

◆第42回二都研の「ふろタン技研レポートコーナーの活用術」を契機にして、これからは幅広く多くの皆さんへ技研レポート投稿の呼びかけを続けてまいります。ふろタン工房会員拡大を目指してご協力のほどよろしくお願いたします！